

## 2009「在日朝鮮人歴史・人権」(後半)イベントとお知らせ

### フォトジャーナリスト伊藤孝司写真展『戦争と日本』 各地で開催



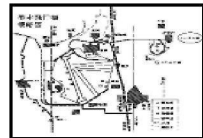
①【名古屋市】8月13日(木)～16日(日) 午前10時～午後6時  
名古屋市公会堂4階ホール(「鶴舞」駅徒歩2分)「09 あいち平和のための戦争展」展示場  
一般500円 小中学生以下、障がい者(介助者含む)無料  
在日朝鮮人歴史人権週間東海実行委員会(T052-618-7771)

②【東京都東村山】8月12日(水)～16日(日) 午前9時～午後5時 無料  
\*12日は午後2時からオープニングセレモニー 記念講演:陳吉相・尹碧巖  
国平寺(西部新宿線「小平」駅北口徒歩3分西部鉄道変電所となり)  
東京都東村山市萩山町1-15-15 T042-342-0801  
\*国平寺とは:日本政府の遺骨調査を促したMBC特集『金原百植の忘却の60年』の舞台

③【神戸市】10月17日、19日、20日 午前9時～午後6時 無料  
神戸市教育会館ギャラリー(神戸市営地下鉄「県庁前」徒歩5分)  
神戸市中央区中山手通4-10-5 「歴史人権」関西実行委員会(078-251-3681)

### 『関西集会ーともに学び理解しあうために』

10月17日(土) 午後1時～4時 資料代 1,000円  
神戸市教育会館大ホール(神戸市営地下鉄「県庁前」徒歩5分)  
神戸市中央区中山手通4-10-5



- 劇団水曜日「海を越えてつながる私たち」 ●被害者遺族の証言
- 朝鮮人強制連行に対する日本弁護士連合会の勧告
- 関西各地フィールドワークの案内等 関西実行委員会(078-251-3681)

### 8/29(午後1時)～30日(午前)「歴・人」全国集会 名進研(JR名古屋徒歩5分)

- オープニングセレモニー 寸劇:テマンハルモニとマダンのハルモニ(テマンおばあさんとマダンのおばあさん)  
証言:長野・平岡ダムに連行されたアボジ
- シンポジウム / 床井 茂「日本弁護士連合会朝鮮人強制連行に対する勧告」/前田 朗「いい仕事がある」と騙して海外に、最高裁の判例から / 愛知調査団 中島飛行機半田工場被連行者の年金と現在 ○レセプション
- 30日 フィールドワーク ①名古屋市東山霊安殿、②岐阜県久々地下工場  
名古屋市西区上名古屋3-16-25 「歴・人」東海実行委員会 T.052-618-7771 F.052-618-7770

### 各地での賛同イベント

7/17(金)午後6時15分 岐阜市勤労会館(058-245-8901) 「歴・人」学習会 加藤明「朝鮮人強制連行の実態」 主催:岐阜地区労

7/18(土)～19(日)横須賀市勤労福祉会館(ヴェルクよこすかT0468-22-0202) 「歴・人」東日本集会  
○7/18 ・証言・シンポジウム(原田章弘、前田朗)・写真ストーリー放映「李用鎮氏の生涯ー強制連行そして無年金で亡くなる」○7/19 フィールドワーク(貝山地下壕) 主催:同実行委員会

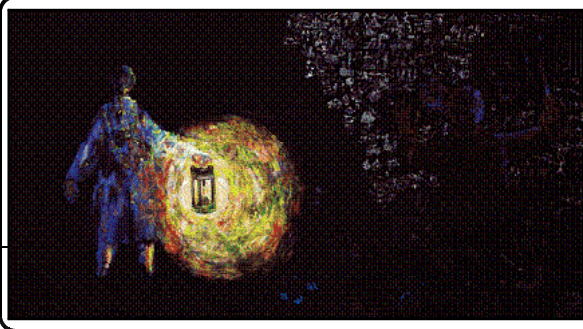
7/18(土)午後1時30分 下関市民活動センター(下関市竹崎町 ヴェルタワー下関 T083-231-1826)  
「歴・人」山口集会 ○差別の根源から/麻生炭坑/長生炭坑追悼碑/下関教育長発言その後

7/21(火)～7/25(土) 朝鮮大学校 「フォトジャーナリスト伊藤孝司写真展」  
○各国の日本軍「慰安婦」被害者、南北の被爆者、強制連行等

7/22(水)午後6時30分 神戸市勤労会館(JR三宮駅東徒歩10分 T078(232)1881) 「在日の無年金と消えた年金」 ○朝鮮人強制連行ー新たな視点から、証言 主催:兵庫調査団

# 2009『在日朝鮮人歴史・人権週間』 強制連行・無年金と消えた年金・フィールドワーク

\*ここで使用する「朝鮮」とは南北朝鮮全体を包括するものであり現在の国籍に限定されない概念である。



**趣旨：**人種主義等に関する国連特別報告者は「最も甚大な表れ方をしているのは文化的・歴史的性質を有する差別である。」「コリアン・中国人コミュニティについては、こうしたマイノリティに対する差別の歴史的・文化的根深さが日本では認識されていない。」(D・ディエン 国連特別報告者「日本公式訪問」2006.1.報告書)とした。在日朝鮮人に対する差別の根源を知り根本的・全面的解決を考える初の人権週間である。

2009年のテーマ 「朝鮮人強制連行」法的視点から、  
在日の無年金、消えた年金 期間(7/3～7/末)

## 主催：『在日朝鮮人歴史・人権週間』実行委員会

**共同代表：**清水澄子(朝鮮女性と連帯する日本婦人連絡会代表)、原田章弘(朝鮮人強制連行真相調査団日本人側共同代表)、床井茂(在日朝鮮人人権セミナー代表)、高德羽(調査団朝鮮人側代表)、柳光守(在日本朝鮮人人権協会顧問)、安川寿之輔(名古屋大学名誉教授)、森正孝(映画「侵略」上映委員会代表)

**賛同団体：**平和フォーラム、自治労、曹洞宗、部落解放同盟中央本部、I女性会議、在日本朝鮮青年同盟中央本部、在日本朝鮮留学生同盟、在日本朝鮮仏教協会、タラウ・マキン島同胞犠牲者遺族会、全国25都道府県別朝鮮人強制連行真相調査団(日本人側・朝鮮人側)\*共同代表及び賛同団体、順序不同。

## 2009『在日朝鮮人歴史・人権奨励賞』について

**趣旨** 在日朝鮮人歴史・人権週間の趣旨に基づく活動の中から、著しい成果を上げた青年学生団体に奨励賞を授与する。

### 趣旨に基づく活動

在日朝鮮人の過去の歴史に関する内容 正しく学び、知らせる活動(リーフレットに基づく学習、強制連行地のフィールドワーク、調査、研究、証言収集、文化芸術活動等)

国際的な人権規範に基づく在日朝鮮人の権利擁護活動(朝鮮学校の権利、在日一世の無年金問題、住宅差別、在日朝鮮人と団体に対する抑圧等)であるが、2009年のテーマに関連する活動を歓迎する。

### 審査基準

在日朝鮮人の歴史、朝鮮人強制連行調査、人権擁護等で現在、切実に求められている課題、問題を取り扱った活動。

日本人と在日朝鮮人の共同行動、各々独自の活動、学生団体もしくはサークル(大学・高校含む)活動。

幅広く、長期的または期間を定めた集中活動。

**表彰** ・特別賞(記念品及び奨励金 20 万円) ・優秀賞(前同、奨励金 10 万円) ・奨励賞(前同、奨励金 5 万円) ・申請は自薦及び他薦も含める。

**申請：**報告書、活動内容のビデオまたはCD、写真を9月末までに郵送する。審査は実行委員会が行い11月初旬の「まとめの会」で公表し、記念品と奨励金進呈。

**送付先：**〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館内

平和フォーラム(歴史・人権奨励賞係) T: 03-5289-8222 F: 03-5289-8223

**締め切り：**2009年9月末日(必着)

\* 2008「人権奨励賞」受賞団体及び内容は2009[歴・人]リーフレットP.82参照。

## ロゴマーク募集

青年学生の作品/優秀賞(5万円)/個人、グループ申請可/B5用紙にカラーで作成する。「在日朝鮮人歴史・人権週間」との名称を日本語・朝鮮語で挿入する。歴史は[ ]と表記する)/ロゴマークの趣旨及び作成者の連絡先(住所、氏名、所属、TEL)を明記する。/締め切り、送付先、発表は「歴史人権奨励賞」同。

## 関連集会の案内

東日本集会 7月18日~19日  
横須賀市ヴェルクよこすか  
18日: 在日証言・シンポジウム・写真展他 19日: フィールドワーク(貝山地下壕)  
関西集会 10月17日  
神戸市教育会館/証言・シンポジウム・写真展・演劇他  
都道府県別集会は「平和フォーラム」及び「朝鮮新報」参照

**事務局** (東京)フォーラム平和・人権・環境(歴・人担当)東京都千代田区神田駿河台3-2-11総評会館内  
T.03-5289-8222 F.03-5289-8223

(東京)朝鮮人強制連行真相調査団 東京都千代田区富士見2-14-15 T.03-5289-8222 F.03-5289-8223  
(大阪)大阪市北区西天満6-7-4 大阪弁護士ビル 空野法律事務所 T.06-6361-5488 F.06-6361-5486